

文章表現に関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



VALUE ルーブリックは、全米の大学を代表する専門教職員が、学習の成果に関する各大学のルーブリックや関連文書を調査し、教職員からのフィードバックを参考にして作成されたものである。このルーブリックは、段階的達成レベルを示す能力指標により、各学習成果の原則的な基準を示すものである。このルーブリックは、各大学が学生の学習を評価し考察する目的で使用されるものであり、成績をつけるために使用するものではない。この 15 の VALUE ルーブリックに示された学生に期待される能力に関しては、各大学、専門分野、コースに応じて、それぞれの解釈が可能である。VALUE ルーブリックは、学生の成果に関し共通の手段と理解を共有することで、すべての学部レベルの機関での学生の学習を、一つの基本的な期待レベルの枠組みの中で位置づけるためのものである。

定義

文章表現とは、考え方を文章で表し表現することを指す。それには、多くのジャンルやスタイルを学ぶことが含まれる。様々な作文技能や、文、データ、画像を調和させる作業も含まれる。文章によるコミュニケーション能力は、カリキュラムの中で繰り返し学習することで身に付くものである。

概要

この文章に関する VALUE ルーブリックは、多様な学校で使用できるように作成されている。文章能力の評価に関する数十年にわたる研究から分かった最も重要なことは、文章の評価方法は、各校において決定するのが最良であり、各校の背景や使命を考慮すべきであるということである。すなわち、このルーブリックを使用する際は、ルーブリックの内容と各校の背景との結びつきを明確にするため、変更や追加をする必要がある。

このルーブリックは、それぞれの文章が個々の背景にどのように関連するかを評価することに重点をおいている。重要な点は、「文章がその読み手の必要性にどのように対応しているか」ということである。この点に焦点を絞っているため、文章作成プロセス、作文技能、文章を作成し発表する様々な方法における習熟度、文章を書くプロセスにより文章作成や専門分野への関与が増したかどうかなどの、他の重要な点には配慮していない。

このルーブリックを使用する評価者は、文章課題や文章を書く目的についての情報を有していなければならない。また、書き手が、文章を作成する際に、その読み手、目的、ジャンルについてどのような決定をしたか、その選択が、その文章の文脈、筋立てや構成、理由付け、証拠、形式または表現における慣例、引用などにどのように表れているかなどに関して、反省文を書かせることも推奨する。それにより、評価する際に、書き手が課題をどう理解し考慮したかを明確にすることができる。

ルーブリックの最初の項目は、文章の背景と目的に関してである。文章課題の背景や目的に関して伝えるために、それに関連する文章を添付することもできるが、文章の中でその背景や目的を伝えることもできる。教員や学校は、文章の背景や目的をどのように表現するかについて学生に指示することが大切である。

私たちが参考にした文章評価に関する研究に興味がある方は、英語教員全国評議会・作文プログラム行政協議会の文章評価に関する白書 (2008; www.wpacouncil.org/whitepaper) および大学作文及び文章表現評価会議の声明 (2008; www.ncte.org/cccc/resources/positions/123784.htm) を参考にされたい。

文章表現に関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



用語

下記は、このルーブリックにのみ適用される用語と概念の定義である。

内容の作成	文章が読み手や目的に関連したテーマを表現する方法
文章の背景と目的	文章の背景とは、文章をめぐる状況、すなわち、誰が読むのか、どのような状況で文章が共有または回覧されるのか、文章の作成や解釈にどのような社会的または政治的要素が影響するのかということである。文章の目的とは、書き手が読み手に対してどのような影響を与えることを意図しているのかということを目指す。説得したいのか何かを伝えたいのか、情報を報告したりまとめたりしたいのか、複雑な状況や混乱した状況を解明したいのか、他の書き手に反論したいのか、他の書き手とつながりたいのか、緊急事態を伝えたいのか楽しませたいのか、自分のために書くのか、課題としてまたは何かを覚えておくために書くのかということである。
専門領域の慣例	課題に応じた適切な導入方法、受動態や一人称の使用、論題や仮説、証拠や根拠の種類、証拠や根拠を提示しテーマに関する批評的見解を述べるための一次的、二次的な情報源の活用など、様々な学問分野で一般的に適切と考えられる正式または非公式な規則を指す。書き手は、専門分野やジャンルの慣例および文章の目的に従って、情報源を利用する。情報源を効果的に活用することで、書き手は、自分の考えと他者の考えを区別し、その分野や問題において既に達成されている業績を信頼し、それに基づいて考え、読み手に意味のある例を提供することができるようになる。
エビデンス	書き手の文章における考え方を、目的に従って拡大するために使用する情報源を指す。
ジャンルの慣例	実験レポート、学術論文、詩、ウェブサイト、個人的エッセイなどの特定の文章や媒体において、書式、構成、スタイルの選択を行うための正式または非公式な規則を指す。
情報源	書き手が、文章の拡大、討論、発展、定義付けを行ったり自分の考えをまとめたりといった様々な目的で使用する文章（文書、口頭や行動によるもの、視覚的なものなどを含む）

文章表現に関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



定義

文章表現とは、考え方を文章で表し表現することを指す。それには、多くのジャンルやスタイルを学ぶことが含まれる。様々な作文技能や、文、データ、画像を調和させる作業も含まれる。文章によるコミュニケーション能力は、カリキュラムの中で繰り返し学習することで身に付くものである。

単独の課題、または複数の課題を総合して、ベンチマーク（基準 1）に達しない場合は、0 点と採点することを推奨する。

	最終基準	中間基準		ベンチマーク
	4	3	2	1
文章の背景と目的 文章の読み手、目的、周囲の状況などの考慮を含む	課題の背景、読み手、目的を完全に理解し、すべての要素に注意を払う。	課題の背景、読み手、目的、焦点を適切に理解している。（課題が読み手、目的、背景と適合している）	背景、読み手、目的、課題を意識している。（読み手の認識や仮説を考慮し始める）	背景、読み手、目的、課題に対し最小限の注意しか払っていない。（教員や自分が読み手だと考えている）
内容の作成	テーマに関する精通度を示す、適切で関連性や説得力のある内容を使用して、書き手の理解を伝え、文章全体を作成する。	専門領域の範囲内で考え方を探求するため、適切で関連性や説得力のある内容を使用して、文章全体を作成する。	文章の大部分において、考えを発展させ探求するため、適切で関連性のある内容を使用する。	文章のいくつかの部分において、簡単な考えを発展させるため、適切で関連性のある内容を使用する。
ジャンルや専門領域の慣例 特定の書式や学術分野の文章に共通する公式または非公式な規則	構成、内容、表現、方式、形式など、特定の専門領域や課題に応じた幅広い慣例に注意を払うように使用する。	構成、内容、表現、方式、形式など、特定の専門領域や課題の重要な慣例を一貫して使用する。	基本構成、内容、表現、など、特定の専門領域や課題に応じた慣例に従う。	基本構成や表現において一貫した方法を使用するよう努める。
情報源とエビデンス	文章の専門分野やジャンルに応じた適切な考え方を発展させるため、高品質で信頼できる関連した情報源をうまく使用する。	文章の専門分野やジャンルにおける考え方を裏付ける、信頼できる関連した情報源を一貫して使用する。	文章の専門分野やジャンルに適した考え方を裏付ける、信頼できる関連した情報源を使用するよう努める。	文章において、考え方を裏付ける情報源を使用するよう努める。
構文や機構のコントロール	読み手に意味をうまく伝える、明確で流暢でほとんど間違いのない品格のある言語を使用する。	読み手に大まかな意味を伝える、分かりやすい言語を使用する。使用する言語にはほとんど間違いがない。	読み手に大まかな意味を明確に伝える言語を使用するが、いくつかの間違いがある。	使用する言語に間違いがあり、時として意味が正しくない。